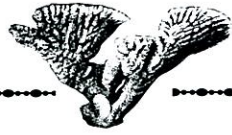


タマユビミドリイシ

分類：イシサンゴ目 ミドリイシ科
 学名：*Acropora anthocercis*
 英名：

沖縄から熱帯海域のサンゴ礁斜面の浅所に見られる。基部から横に張り出す枝が網目状に融合し、その上面に多数短い直立枝が伸びる。そのため群体はやや厚めのテーブル状のコリンボース型とよばれるもので散房花状に似る。色彩は灰褐色特に枝の先端は灰色味をおびた淡褐色である。枝の先端には幾つかの長く突出した頂端ポリプがあり、群体の縁辺部よりも中央部でその傾向が著しい。頂端ポリプは先細りである。側生ポリプはあまり目立たない厚く莢壁をもっている。



イボハダハナヤサイサンゴ

分類：イシサンゴ目 ハナヤサイサンゴ科
 学名：*Pocillopora verrucosa*
 英名：

沖縄から熱帯海域の波あたりの強い礁縁附近の干潮時に干上がるような浅所にごく普通に見られる。淡褐色、紫色、ピンク、オレンジなどさまざまな色彩をもつ準塊状のサンゴで直径3cm位にまで生長する。丈は低く約15cm位、枝は太く強固で群体表面は一面に3mmほどの大きさが色々のコブ状の突起でおおわれている。突起には平坦な部分にもポリプは満遍なく分布する。干上がらない所では昼間でもポリプは開いている。

